

# 日本ニュース

シネスコ版

道新 10/16  
中口新 10/30  
高知新 10/24  
新愛媛新 10/27

本編同✓  
泣き笑いの歳暮寄附一島一ノク(本編トップへ追加)  
本編同✓  
**No. 414** 36.12.22

一、日本一九六一年

ことしは池田さんの所得倍増政策一年目。安保斗争に結集された民衆エネルギーもすつかりお札のムードに包まれてしまいました。

アメリカでは東西の歩みよりへの期待を担ってケネディが登場しました。しかしラオス、キューバなどの民族主義の動きをはじめ、ベルリン問題をめぐって米ソの対立は再び険悪化して核実験再開にまで発展。死の灰の恐怖の国際政治の中で日本は箱根会谈を機にアメリカのドル防衛の一翼を担うことになりました。

国内では空前の消費景気にうかれましたが実態はどうでしょうか。今年も十四多という高度成長が実現しましたが、成長したのは大企業ばかり。中小企業は高度成長のもたらした国際収支の赤字のしわ寄せをうけて年の暮も金詰りで必死です。農業基本法も関係法案が審議未了ではマヒ状態。物価だけはどんどん上ってゆくのですからたまりません。

しかし人々はレジャー・ブームうかれ、政治不感症だけがみるみるまんえん。大阪のスラム街だけが所得倍増から見捨られた怒りを爆発させ安定ムードに水をかけました。

炭鉱地帯でもその実状は人道問題の様相にすらなりかねません。所得倍増の夢と現実のへだたりにこそ新年の課題があるといえましょう。

## 一、伝説キリスト異聞

—青森

十字架の聖者はキリストと思いきや実は身代りとなった弟のイスクリなる人物で、本当のキリストは日本に来て日本で死んだという奇妙な伝説があります。

ところは、十和田湖のふもと青森県三戸郡新郷村の戸来(へらい)で、れっきとしたキリストの墓から、住んでいたという屋敷跡、さらに、キリストゆかりの子孫という人物までいるからびっくりします。

その信疑のほどはともかくとして、この村には古代のユダヤを思わせる風習が多く残っており、中でも「盆うた」は日本語ではさっぱり意味がわかりませんが、ユダヤ語に訳すとエホバの神を讃える収穫のうたになる由。

村人たちも、首をかかしています。ともかく祖先が教えた風習を大切に守っているのです。クリスマスがパーやキャバレーで、催される折柄こうした話もけっこうではありますまい

678円

276円

402円